

3月放送総局長定例記者会見要旨

(1) 東京オリンピック聖火リレーについて (正籙放送総局長)

あすから、東京オリンピックの聖火リレーが始まる。全国でおよそ1万人の聖火ランナーの皆さんにとっては、コロナ禍の1年を経てようやく迎える本番となる。NHKでは、大会組織委員会との協力関係に基づき、聖火リレーの全日程に同行して撮影する。その映像を基に、毎日、放送や、インターネットでのライブ配信でお伝えしていく。既にご案内の通り、あすはリレーの出発式の模様を特設ニュースで紹介し、夜にはリレーの出発地の福島県の皆さんや、大会を目指すアスリートの声などを集めた特別番組を放送する予定だ。また、聖火リレーの様子を5分にまとめた「聖火リレーデイリーハイライト」を毎日、制作・放送するとともに、「NHK東京2020オリンピックサイト」で、聖火リレーの模様をライブストリーミングで紹介する。このほか、各地の放送局でも、それぞれの地元での聖火リレーの模様をニュースや番組でお伝えする。また、国際放送「NHKワールドJAPAN」でも世界に向けて情報を発信していく。組織委員会では、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、沿道の観覧は密集を避けるためお住まいに近い場所で観覧し、都道府県をまたいでの観覧は控えることなどを呼び掛けている。その上で、聖火リレーの模様はなるべくNHKのライブストリーミングでご覧いただくよう呼びかけている。ぜひ、テレビやインターネットを通じて聖火ランナーの皆さんを応援していただければと思う。

(詳細は報道資料を参照)

(2) 新年度の新番組について (正籙放送総局長)

来週から、新年度の番組がスタートする。新3か年経営計画で重点目標に掲げた「安全・安心を支える」「新時代へのチャレンジ」「あまねく伝える」「社会への貢献」を、放送、サービスで実現し、「新しいNHKらしさ」を追求していく。新番組の放送内容が決まってきたので、お伝えする。

まず、公共メディアとして課題解決に取り組むと宣言している、SDGs＝持続可能な開発目標についてのキャンペーン「未来へ17アクション」。その一環で、Eテレで始まる「ひろがれ！いろとりどり」。SDGsについて学ぶ子ども向けの番組シリーズで、3つの番組を週替わりで放送する。

初回3月29日の放送は「出川哲朗のクイズほお～スクール」。WEBサイト「NHK for School」の映像を使い、クイズ形式で学ぶ。「NHK for School」には、小中学生向けの学習動画が9千本余りあり、SDGsの17の目標ごとのさまざまな動画も見られる。

2週目の「ぼくドコ」は、将来の持続可能な産業発展を担う子どもたちに、モノの一生について楽しく学んでもらう番組。

3週目は「応援！みんなのチャレンジ」。全国の小中学生が、サステナブルな社会実現のためのアイデアをプレゼンする番組だ。

「ひろがれ！いろとりどり」では、このほかにも、いろいろな企画を予定しており、案内役を務めるマスコットキャラクター「アオ」と「キイ」が今後、お伝えしていく。

また、「NHK for School」のアンバサダーに、出川哲朗さんと山之内すずさんが就任した。お二人には「NHK for School」の魅力をさまざまな形で伝えていただく。小中学生に1人1台端末を整備するGIGAスクール構想が本格的に始まる新年度、「NHK for School」は、子どもたちの学びをサポートしていきたいと考えている。

次の新番組は、「安全・安心」をテーマとした総合テレビの「明日をまもるナビ」。NHKのネットワークをフル活用して、いのちと暮らしを守る取り組みや最新の研究についてお伝えする。4月4日の放送は、住んでいる場所の危険をいかに知るかについて、広島県熊野町の住民が独自に作った避難マップを活用した取り組みなどをご紹介する。11日は、水害からの避難について。18日は、水や食料の備蓄について放送する予定だ。

続いて、大阪拠点放送局で制作する番組。武田真一アナウンサーが、多彩なゲストとともに、大阪発だからこそ元気な情報を全国に発信する「ニュース きん5時」。初回の4月2日は、小藪千豊さんをゲ

ストに、特集企画で、コロナ禍に揺れる東京オリンピック・パラリンピックの主役たちの物語を放送する予定だ。また、全国各地の卓越した人物の人生哲学を紹介するコーナーでは、ネジ専門商社に勤める、90歳の女性が登場する。

毎週水曜に放送する新番組「歴史探偵」は、俳優の佐藤二朗さん率いる探偵事務所が、歴史の現場に眠る真相を徹底取材し、謎を解き明かす。初回の放送では、参勤交代に関わった人たちのリアルな姿を。2回目は、みやびな平安京の裏側について。3回目は、関ヶ原の戦いの全貌を明らかにする。

このほかの番組にも、ぜひご期待を。

また、これまで申し上げている、大型連休中に放送を予定している開発番組については、内容が固まり次第発表させていただきます。

(詳細は報道資料を参照)

(3) NHKスペシャル「激動ミャンマー～市民たちのデジタル・レジスタンス～」

「家族が最期を決めるとき～脳死移植 命をめぐる日々～」 (小池副総局長)

来月放送するNHKスペシャルから、2本ご紹介する。

4月4日は、「激動ミャンマー・市民たちのデジタル・レジスタンス」。2月初めに軍事クーデターが起きたミャンマーでは、若者による抗議活動や公務員による職務ボイコットなど、国民的なデモが続いている。対する軍は弾圧を強化して、発砲などによって死者が増え続け、抵抗を続けるデモ隊との衝突が各地で相次いでいる。こうした中、市民たちが展開しているのが、インターネットやSNSを駆使してデモを行う“デジタル・レジスタンス”。一方、軍もネット回線の遮断で応戦するなど、現実の世界とインターネット上で“表裏一体の攻防”が展開されてきた。番組では、軍によるメディアへの規制が強まる中、NHKが持つネットワークを生かして現地で若者や公務員、軍関係者などを取材した。インターネットやSNS空間での攻防を追うことで、今後のミャンマー情勢の行方を探る。

もう1本、家族とは何かを考えるNHKスペシャルについて紹介する。事故や病気で家族が突然「脳死」となったとき、あなたなら、どうするだろうか。家族の承認があれば臓器提供ができる「改正臓器移植法」から10年がたち、提供件数は増え続けてきた。一方で、決断までの間に家族がどんな葛藤を抱えているのかは、ほとんど明らかにされていない。取材班は、全国の「ドナー家族」を独自に取材。命をめぐる重い決断と向き合った人たちの、知られざる物語をお伝えする。取材の中間報告として放送した番組の関連動画は、700万回以上再生され大きな反響を呼んだ。NHKスペシャル「家族が最期を決めるとき」。放送は4月11日の予定。ぜひご覧いただきたい。

(詳細は報道資料を参照)

(4) 「セルフポートレート わたしの風景」 (若泉副総局長)

私からは、Eテレで放送する「セルフポートレート わたしの風景」をご紹介する。本人の目線で切り取った映像や、その時々でつぶやく本音を通して、10代の気持ちに迫る番組だ。年間3本ほどの制作を予定している。今回は、去年大学に入学した1年生たちの「わたしの風景」を取り上げる。コロナ禍でキャンパスにも行けず、人と会わなかった日常、不透明な新年度への不安な気持ちを、10代の3人が、“自撮り”を通して自問自答を深めていく過程を記録する。放送は4月29日、Eテレで夜10時55分から。

(詳細は報道資料を参照)

(5) 「生中継！ 一目千本 吉野の桜」 (若泉副総局長)

コロナ禍で外出もままならないが、NHKでは、花見を疑似体験できるような生中継番組を放送する。「生中継！ 一目千本 吉野の桜」。奈良県吉野山に咲き誇る、3万本といわれる圧巻の“山桜の美”を生中継する。知られざる人々の営みと思いを丹念に紹介しながら、圧倒的なスケールと極上の美しさを高画質でたっぷりと味わっていただく。ライトアップで浮かび上がる満開の桜のもと、ギタリストの押尾コータローさんの演奏も華を添える。放送は、BSプレミアムとBS4K同時放送で、4月10日土曜日、夜7時から。お楽しみいただきたい。

(詳細は報道資料を参照)